

平成 21 年 11 月 5 日

企業会計基準委員会 御中

全国銀行協会

「引当金に関する論点の整理」に対する意見について

今般、標記論点整理に対する意見を下記のとおり取りまとめましたので、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

○ 〔論点 2－2〕 蓋然性要件

蓋然性要件は維持されるべきである。

(理由)

発生の可能性が相対的に低い非金融負債については、見積りが困難である場合が多い（特に単一の債務の場合）と考えられる。そのため、結果的に恣意的な見積りにならざるを得ず、情報としての有用性にも欠けることとなる。

○ 〔論点 3－3〕 期待値方式

他の論点との兼ね合いもあるが、少なくとも状況に応じて期待値方式および最頻値方式の双方が認められる余地を残すべきである。

(理由)

単一の債務を非金融負債として期待値方式で表現する場合、時間の経過等とともに不規則に修正されていき、かつその振れ幅が大きくなることが想定される。そのため、情報としての有用性に欠けるものと考えられる。

以 上